

中山地区 公民館だより

NO 613
令和6年2月1日
中山地区公民館
Tel 676 - 2553

☆小正月行事「だんごさしの集い」☆



1月13日（土）に小正月行事の「だんごさしの集い」が行われました。新年の挨拶の後、子供達から1人2枚の短冊に今年の目標を書いてもらい、書いた人からだんご木（みずき）に下げてもらいました。その後、船せんべいや紙でできた飾りを下げてもらってから、5色の餅玉を付けて飾ってもらいました。短冊には、勉強に関連する目標やスポーツでの目標などが書かれていました。公民館の1階和室に飾られ、百歳体操やピンポンなどで公民館を訪れた方々に見て楽しんでいただいています。

☆ふれあい教室「映画鑑賞会」☆



1月15日（月）に公民館で、22日（月）にこぶし会館でふれあい教室「映画鑑賞会」が行われました。今回は、竹野内豊と黒木華の共演の「イチケイのカラス」が、上映されました。公害訴訟とイージス艦の衝突事故という一見関係のないような事件に、裁判官と弁護士というそれぞれの立場から事件を解決に導き、それにかかわった人達と向き合っていく人間模様を描いた作品でした。笑える場面も所々にありましたが、皆さん真剣に見入っていました。

☆出前スポーツ教室「太極舞」☆



1月19日（金）に出前スポーツ教室「太極舞」が山口かおりさんの指導を頂き行われました。太極舞は太極拳の動きをもとにゆっくりと音楽に合わせて体を動かしていきます。最初に、腕や足をさすってリンパの流れを良くしていったから先生の動きに合わせて体を動かしていきましました。片足で体を支える動きもありましたが、あまりふらつくこともなくゆっくりした動きが出来ていました。手首には、たくさんのツボがあるようで手首をそらしたり、回したりして刺激をあたえた方がいいと教えていただきました。ゆっくりした動きをすることで筋肉への負荷は結構あり「もしかすると明日あたり筋肉痛になるかも」と先生に言われましたが、皆さん大丈夫だったでしょうか。

－ 2月の行事予定－

2月	2日（金）女性講座「料理教室」	中山地区公民館
	地区役員会	中山地区公民館
	3日（土）第3回地域部会	中山地区公民館
	9日（金）ふれあい教室「映画鑑賞会」	こぶし会館
	11日（日）女性講座「フラワーアレンジメント教室」	中山地区公民館
	16日（金）第4回体育部会	中山地区公民館
	地区役員会	中山地区公民館
	19日（月）ふれあい教室「映画鑑賞会」	中山地区公民館
	23日（金）わんぱく広場「閉級式」	中山地区公民館
	26日（月）出前スポーツ教室「シャフルボード」	中山地区公民館

※状況により行事予定が中止又は延期になる場合があります。

「ピンポンを楽しむ会」	毎週火・木曜日 午前9時30分から
「健幸体操」	毎週火曜日 午後1時30分から
「いきいき・かみかみ百歳体操」	毎週水曜日 午前9時30分から

－ 3月の行事予定－（変更になる場合があります）

3月	1日（金）地区役員会	中山地区公民館
	8日（金）専門部会合同会議	中山地区公民館
	20日（水）中山地区会通常総会	中山地区公民館
	25日（月）ふれあい教室「雪囲い外し」	中山地区公民館

今年は
東北東!



健康メモ

2月号



今年は雪が降らない時期があったり、気温がいつもより高い、低い、などいつもと違う冬となっておりますが、体調を崩されている方はいませんか?新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス等の感染防止対策と寒さ対策を、引き続き一緒に取り組みましょう。

節分のは、ご家庭で豆まき・恵方巻きで厄を払い、福を呼び込みましょう!



2月16日(金)まで「世帯調査表」をご提出ください

1月末に各ご家庭に送付させていただいた「世帯調査表」のご提出をお願いします。

これは令和6年度の健康診断の希望調査となりますので、検診を希望しない方も含めて、調査表に記載された全員についての回答にご協力ください。

※かかりつけ医で定期的に受診している方も、市の健康診査を受けてみませんか?いつもの検査項目のほかにも、自身の健康状態を詳しく把握することができる機会です。ぜひご活用ください。

◀世帯調査表

- ・対象年齢:20歳以上
- ・検診内容:基本健診、特定健診、がん検診(胃、大腸、肺、子宮、乳)
- ・検診会場:中山地区公民館、山形検診センター

※65歳以上の方は市内指定医療機関での受診も可能です
年齢や健康保険によって、受けられる検査項目や会場、料金は異なります。詳しくは、届いた世帯調査表と案内をご覧ください。



かみのやま健康ポイントにご参加の皆様、歩数はいかがですか。
寒い日は特に、準備体操をしてから、足元に注意して歩いて、体をポカポカにしましょう。
2月は冬の活動量アップイベントも企画しております。無理のない範囲で、皆様のご参加お待ちしております!

中山の民俗

☆五〇二号☆

足軽屋敷の契約実態

足軽は、足軽く疾歩する者の意で、平安時代から江戸時代までに存在していた戦陣の歩兵で、雑兵(ぞうひよう)富田も云う。戦国期には弓や鉄砲の訓練を受けて、部隊を編成していたが、中山の足軽衆は武田信玄の家臣、清水三河守康徳と共に、慶長三(一五九八)年、信州塩崎(現、長野県長野市篠ノ井)から居住。御役屋将となった元禄期からは、足軽屋敷は十四軒で、一戸の間口は五間・奥行十五間と定められた設置での「契約」が、明治維新を経て、明治三四年の大火まで継承していた。その間、屋敷内の移動もあったろうが、大方は当時の屋敷配置図である。(図1)そこで契約が消滅した後の変遷を試みる。

1の屋敷は現在の中山二五五四番地・落合家

武者家Ⅱ南陽市赤湯在住

落合家Ⅱ現在の落合伊勢雄家

市川家Ⅱ中山楊橋一四二二番地

安部家Ⅱ中山新町二四〇六番地

2の屋敷は現在の中山二五六四番地・落合家

田島家Ⅱ上ノ山市在住

宮家Ⅱ中山楊橋一四七二番地・宮家

富田家Ⅱ神奈川県横浜市鶴見区在住

宮家と町医者(現在不詳で、後に中山二五六七番地

・斉藤家の屋敷である。

3の屋敷は現在の中山二五六九番地・丸山家

3の星家は現在の中山二五七〇番地・星家

4の星家Ⅱ中山上町三三〇三番地・星家

富田家Ⅱ福島県いわき市常磐ハワイ

4の屋敷は現在の中山二五八三番地・西村家

吉田家Ⅱ北海道在住

この様に、足軽屋敷に残ったのは三軒で楊橋に移築、または分家によって楊橋を「叔父町」とも呼ばれていた。さらに、これを契機に、中山に移住した足軽衆の子孫が、清水三河守康徳の縁を大事に、年一回(十月十七日)、「山ノ神」を祭神として親睦を図るようになった。

参考文献

東置賜郡教育委員会『東置賜郡史』昭和一四年刊・『長野県・更埴地方誌』

長井政太郎『赤湯町史』赤湯町史編集委員会・昭和四三年刊

米沢市史編さん委員会『米沢市史編集資料・第九号』昭和五七年刊

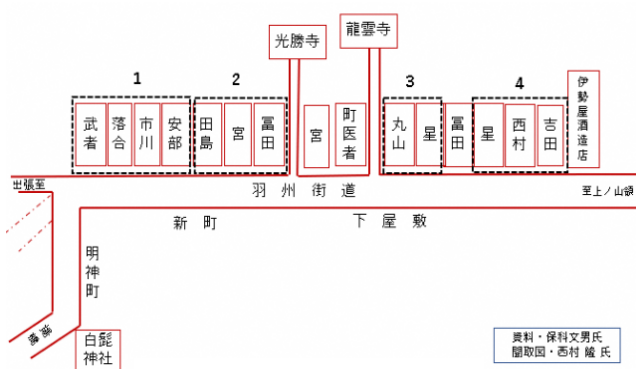


図1 中山の足軽屋敷配置図

お知らせ

これまで長きにわたり「中山の民俗」を寄稿して頂きました加藤和徳氏が一月七日御逝去されました。これまでの御苦勞に感謝し、ご冥福をお祈り致します。なお生前の意向により、原稿を頂いている五一八号まで掲載を継続させて頂きます。

蓬萊波文山文庫主

加藤和徳